

製品名: リン酸化モエシン (Thr558) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84910

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 68 kDa

抗原情報

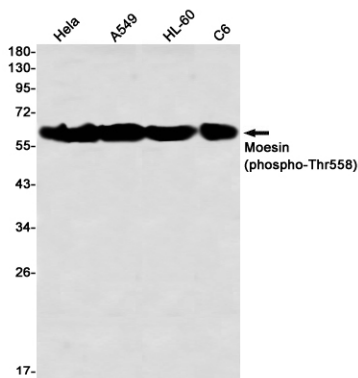
遺伝子名	Phospho-Moesin (Thr558)
別名	MSN; Moesin; Membrane-organizing extension spike protein; RDX; Radixin; EZR; VIL2; Ezrin; Cytovillin; Villin-2; p81
遺伝子 ID	4478.0
SwissProt ID	P26038
免疫原	ヒトモエシンの Thr558 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

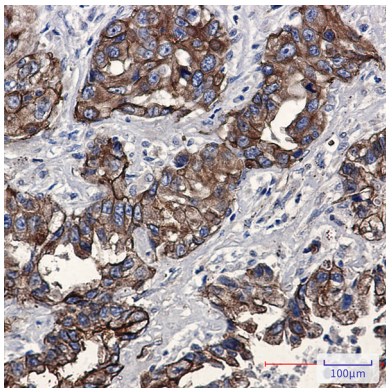
エズリン、ラディキシン、モエシン (ERM) タンパク質は、細胞膜とアクチン細胞骨格間のリンカーとして機能し、細胞接着、膜の波打ち、微絨毛形成に関与しています。ERM タンパク質は、アミノ末端ドメインとカルボキシ末端ドメインの間で分子内または分子間相互作用を起こし、不活性な細胞質単量体または二量体として存在します。

研究分野

画像データ



Phospho-Moesin (Thr558) 抗体を使用した、Hela、A549、HL-60、C6 溶解物中の Moesin (Phospho-Thr558) のウエスタン プロット分析。



Moesin (Phospho-Thr558) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。